

ふるさと おも かたち 郷土の想いを形に

ゆうこう道政便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

北口雄幸道議、新春の集いで決意あらたに!

多数の参加に感激

「北口雄幸道議と語る新春の集い」が、2月1日土別グランドホテルで四百名を超える皆さんにご参加いただき、盛会に開催されました。

まず、小貫会長が主催者を代表して挨拶。その後、来賓としてお越しいただいた佐々木隆博代議士、青木次郎北海道公営企業管理者から激励のご挨拶をいただきました。



農業と医療を守る

松岡恭子婦人部長から花束を受けた北口道議は、「昨年の4月、皆さんの力で道政に参画することができた。この地方が元気になるためには、基幹産業である農業

お礼のご挨拶

2月1日に開催いたしました、「北口雄幸と語る新春の集い」に際し、多くの皆さんのご参加をいただき、無事終了することができました。心からお礼を申し上げます。

また、準備の不手際から会場に入れなかった皆さんに対し、衷心よりお詫び申し上げます。

お陰様で、北口道議も元気で活動を続けております。これからも変わらぬご支援をいただきますようお願いし、お礼と致します。

士別市後援会長 小貫勝太郎
北海道議会議員 北口 雄幸

政治の原点は現場・生活・ふるさと

と安心して住むための医療を守っていかねばならない。この地方がもつと元気になるためにこれからも頑張る」と、決意を新たに

した道政報告をされました。その後の鏡開きでは、各界の代表者の皆さんとともに、今年1年の発展を誓い合い、山口信夫美深町長の乾杯で祝宴に入り、沖田龍児道議会議員(苫小牧市)、富樫秀文上川支庁長、伊藤喜代志比布町長、五十嵐誠鈴木宗男代議士秘書からそれぞれテーブルスピーチをいただき、締めは、岡田久俊士別市議会議長の三本締めで集いを閉会しました。



早いもので皆様にご会へ送っていただき、二

年半が経ちました。小泉・安部政権では規制緩和、構造改革路線のもと格差が拡大し、この歪みを直そうとした福田政権では景気・経済は回復せず、霞ヶ関や族議員の復権を許してきました。民主党に参院第一党を与えていただいた力は、新たな政治の展開を創り出し、年金

「厚労省、道路特定財源」国交省、「イージス艦あた」ご衝突事故、「防衛省など、追及のみならず対案提示の国会審議は、霞ヶ関」官僚政治から国民主権・地域主権への大きなうねりとなってきました。

私の政治の原点は、「現場・生活・ふるさと」です。「故郷」を一人一倍愛する北口道議と共に北海道再生へ全力を尽くします。

衆議院議員 ささき隆博

第一回定例道議会報告(2月26日~3月26日)

平成20年第1回定例道議会は、2月26日から3月26日までの30日間の日程で開催されました。

今定例議会は、平成20年度の道予算を決め、地域間の格差解消、景気回復、地域医療の確保など、重要な課題が山積する議会でもありました。

民主党・道民連合は、代表質問に池本柳次議員(十勝支庁)が登壇、一般質問では、北口道議を含む11名が、当面する道政課題など、

道の取り組み状況について

北口道議、一般質問において

地域医療と公立病院支援を質問

北口道議は、地方における医師不足や公立病院会計の赤字問題、自治体病院等の広域連携構想などについて、各地を視察調査した結果をもとに質問しました。

医療の役割と責任は

問 国民の生命と健康を守るのは、誰の責任で行い

質問しました。また、平成20年度の予算は、一般会計2兆9090億円を可決しました。

国と道と市町村の役割はどうあるべきか。

答 国は医師の養成や医療保険制度などを担い、道は地域医療における医療供給体制の整備と地域医療の確保に係る施策を推進、市町村は、住民に身近な医療や保健・介護サービスと一体となった包括的なケア体制の整備が役割だ。

問 小児科の夜間休日における子ども救急受診が増加する傾向だ。救急受診緩和に向け、小児救急電話相談事業を強化すべきでは

答 これまで平日のみの相談体制であった。今年4月からは土曜日を実施する。

問 道は、自治体病院等広域化・連携構想をまとめたが、この計画の実現に向け、

道の役割と責任は。

答 道内30の区域毎に設置する検討会議において、地域医療の確保と病院経営の健全化などについて協議する。道はこの会議の事務局を保健所が担い必要な情報提供や助言に努める。

医師確保の約束を

問 地域医療を守るためには、医師の安定的な派遣の約束が不可欠だ。道が責任を持って大学病院等や大規模病院などと連携し、医師派遣の約束を取り付ける努力をすべきでは。

答 北海道医療対策協議会の医師派遣連調整分科会において、構成員である三医大や民間病院などに対し、医師派遣を要請していく。

問 医療機器をはじめ、医療スタッフなどについて地域の医療資源についての議論する場も必要では。

答 検討会議の構成員は、市町村、医療機関や関係団体、住民代表などを想定し

ている。必要に応じて医療従事者を加えるなど、地域事情に応じた対応をする。

通院の足を守れ!

問 病院が広域化されると通院のエリアはより広がる。患者の足をどのように守るのが。

答 患者の通院手段の確保や救急搬送体制の整備などが課題。今後、市町村が行う通院バスの運行や患者輸送車の整備などの取り組みに対し、補助制度を最大限活用して支援し、地域住民の利便性の確保に努める。

問 今年、2機目のドクターヘリの調査費を計上したが、どの地域に配置しようとしているのか。

答 未整備圏域における救命医療の機能や救急搬送状況などについて調査し、新たなドクターヘリの導入地域や基地病院の選定に向けた取り組みを進める。

問 公立病院特例債を発行してもなお市町村全体の財政が悪化している市町村



医師確保・地域医療問題で一般質問する北口道議(3月11日)

に対し、低利融資制度や利子補給など、道独自の財政を行うべきでは。

答 市町村振興基金の見直しなど、市町村財政の健全化の加速に向けた対応について、鋭意検討していく。

採択された決議・意見書

2016オリンピック・パラリンピック競技大会の東京誘致を支援する決議 道路整備に必要な財源の確保に関する意見書 地方議会議員の位置づけの明確化を求める意見書 北方領土問題の解決促進に関する意見書 精神科医療の充実に向けての意見書 保育所や放課後児童クラブなどに対する子育て支援予算の財政措置に関する意見書 米国の「北朝鮮に対するテロ支援国家解除」に反対する意見書 日米地位協定の見直しに関する意見書 介護保険制度の改正に関する意見書 飼料価格の高騰対策に関する意見書 輸入食品の検査・検疫体制の抜本的強化を求める意見書 地域医療を担う医師の養成を求める意見書 安定的な雇用の確保に関する意見書 改正建築基準法施行の影響に対し実効性ある対策を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



富良野市消防出初式&新年交礼会に参加：1月7日



佐々木代議士と行った新春街宣：西條前 1月2日



高橋知事に新年度予算の要望と提言：1月29日



名寄地域の首長・議長から要請：名寄市 1月18日



名寄市議会の皆さんと研修懇談会：2月13日



鈴木宗男代議士と握手：名寄の集いにて 2月10日



土風山登山会、3月22日

北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kitaguchinet/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(1月～3月分)

1月14日【佐々木隆博代議士を囲む新年交礼会】

佐々木隆博代議士の新年交礼会が、今日(14日)開催された。道議時代から数えて22回目となる今回の交礼会は、多くの支持者の皆さんが集まり、近づく解散総選挙に向け、佐々木代議士の再選を誓い合った 私も来賓としてご挨拶の機会を与えていただき、前回の選挙の資



佐々木隆博代議士を囲む新年交礼会

料をもとに「前回の結果は士別で大量得票をさせていたことが勝利に繋がった。次回も皆さんのお力をお貸し願いたい」と挨拶 佐々木代議士は、「2年4ヶ月国政に参画させていだいた。この間、政治は誰のためのものかなど、常にふるさとを思い活動してきた。これからその思いは変わらない。次の選挙は自分の中で過去一番の厳しい選挙になることは間違いない。しかし、皆さんの思いを受けてしっかり闘う」と決意をのべられた。

2月3日【糸魚小学校百年・新校舎落成記念式典祝賀会】

今日(3日)、朝日町にある土別市立糸魚小学校の開校百周年・新校舎落成記念式典及び祝賀会に出席させていただいた(中略)近代的な新校舎は、朝日町の基幹産業である木材をふんだんに使い、オープンスペースを確保しながら、広く明るく温かい校舎となっている この日の記念式



糸魚小学校百年・新校舎落成記念式典

典・祝賀会には、歴代の校長先生をはじめとする教職員、PTA役員、そして町内の皆さんが多数参加し、百年の歴史を祝した。私は祝賀会でのスピーチで「学校は、地域における文化と情報の発信基地。簡単に無くしてはならない」とお話しをさせていただいた。

3月13日【国際交流のつどい】

昨日(12日)、道議会議員全員で構成している「国際経済・文化交流促進北海道議会議員連盟」主催の北海道議会「国際交流のつどい」が札幌市内のホテルで開催され、私も出席してきた このつどいには、北海道に領事館や事務所がある、アメリカ合衆国総領事館、大韓民国総領事館、ロシア連邦総領事館、中華人民共和国総領事館、サハリン州代表部などの総領事をはじめとする、領事の皆さんなどが参加し、短時間ではあったが交流を深めた。私は、同じテーブルとなったアメリカのダーナ・A・ウェルトン総領事とお話しし、記念撮影もしていただいた。総領事は、北海道に観光で2度ほど来たことがあったそうだが、上手な日本語で会話をし、私の名刺を見て、「土別ですか」と質問するなど、漢字も知っていることに私は驚いた。これからの社会、国際交流は



ダーナ・A・ウェルトン米国総領事

ますます盛んになり、必要なのである。私も視察などを通じて、国際感覚を身につける必要を感じたところだ。

【つづいて】

皆さんのご支援をいただき、道議会に参画するようになって、まもなく1年が経過しようとしている。最近、私自身よく考えるのが、「政治家の仕事ってなんだろう」と言うことだ。皆さんから税金を納めていただき、そのお金(税金)を誰にどのように使い、法律や条例で社会のルールを決める。それが政治家の仕事なのだ。ところが、都市と地方の格差、地域医療の崩壊、高齢者や障がい者の負担増など、どうもお金の使い方従来と大きく変わってきたようだ。こんな時こそ、誰のための政治をどのようにするかを心に決めて仕事をしなければならぬのだらう。どつや、最近、地方や弱者のための仕事をしている政治家が減った事が、このような格差に繋がったのかも知れない。そう考えると、来るべき総選挙はきわめて重要だ。私たちの思いを共有する佐々木隆博さんが再び国会で仕事をしていただく必要がある。(ゆうこう)